

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年8月9日

ソースネクスト株式会社

1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 今後の見通し

4. 補足資料

総括

- 米国でのポケットーク販売好調等により、連結売上高は前期比10.5%増。経常損失も前期比で縮小
- 当社孫会社POCKETALK INC.（米国）の売上高は、前期比2.4倍に伸長。半期において、初の営業利益黒字化を達成

トピックス

- POCKETALK INC.が半期において、営業利益黒字化を達成
- 対話型ゴルフAIデバイス「BirdieTalk」、応援購入サイト「Makuake（マクアケ）」で販売好調
- スマホ用ゲームコントローラー「Backbone One」の国内唯一の代理店となり、販売開始

2025年3月期 損益計算書（連結） 前期比較

(単位：百万円)

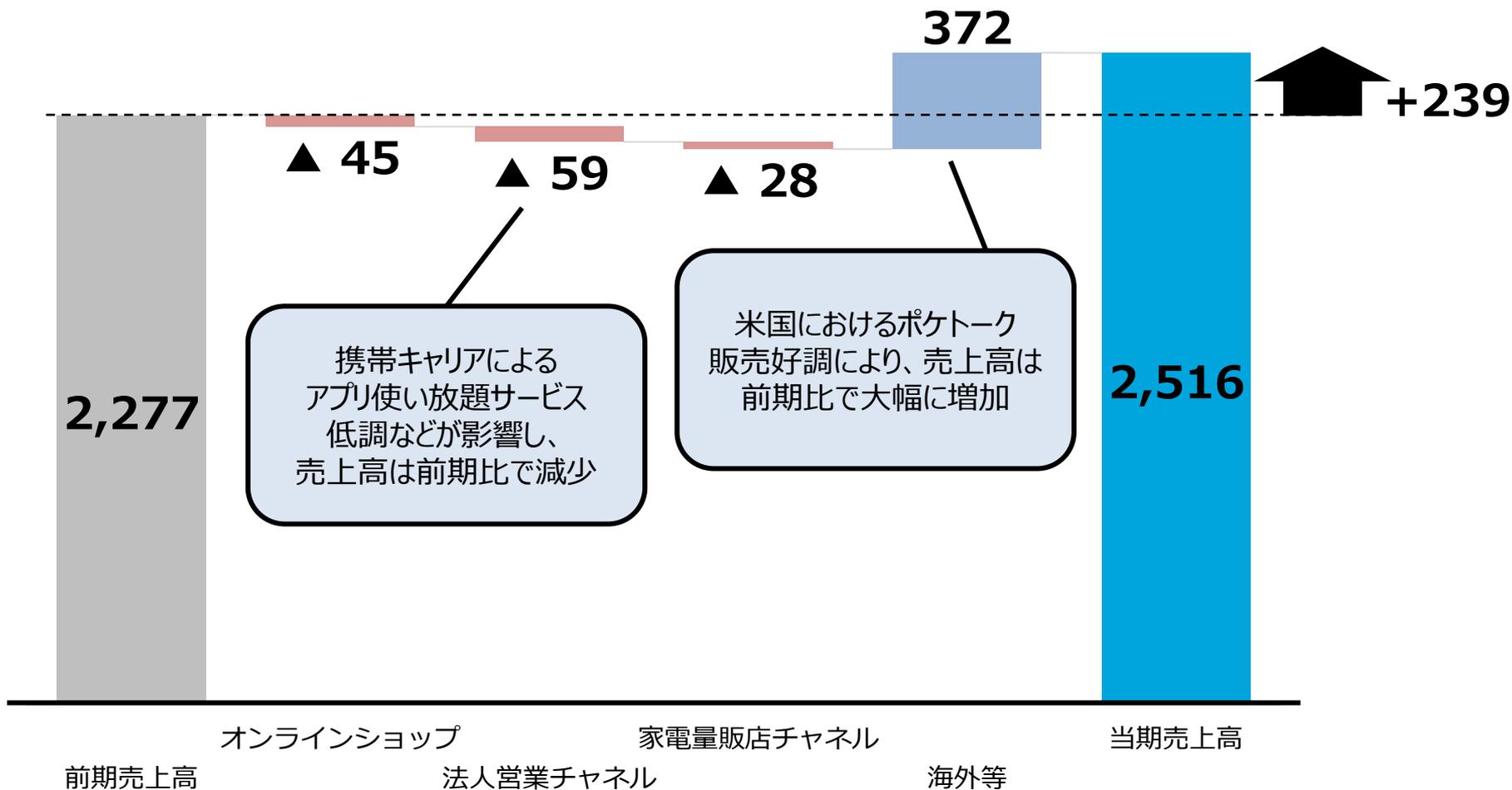
	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年同期比	
			増減金額	増減率
売上高	2,277	2,516	+239	+10.5% 
営業利益	▲962	▲849	+113	+11.8% 
営業利益率	▲42.3%	▲33.8%	-	+8.5pt 
経常利益	▲873	▲710	+162	+18.6% 
経常利益率	▲38.3%	▲28.2%	-	+10.1pt 
当期純利益	▲770	▲544	+226	+29.3% 
当期純利益率	▲33.8%	▲21.6%	-	+12.2pt 

注：当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

チャネル別売上高の増減（前期比/第1四半期）

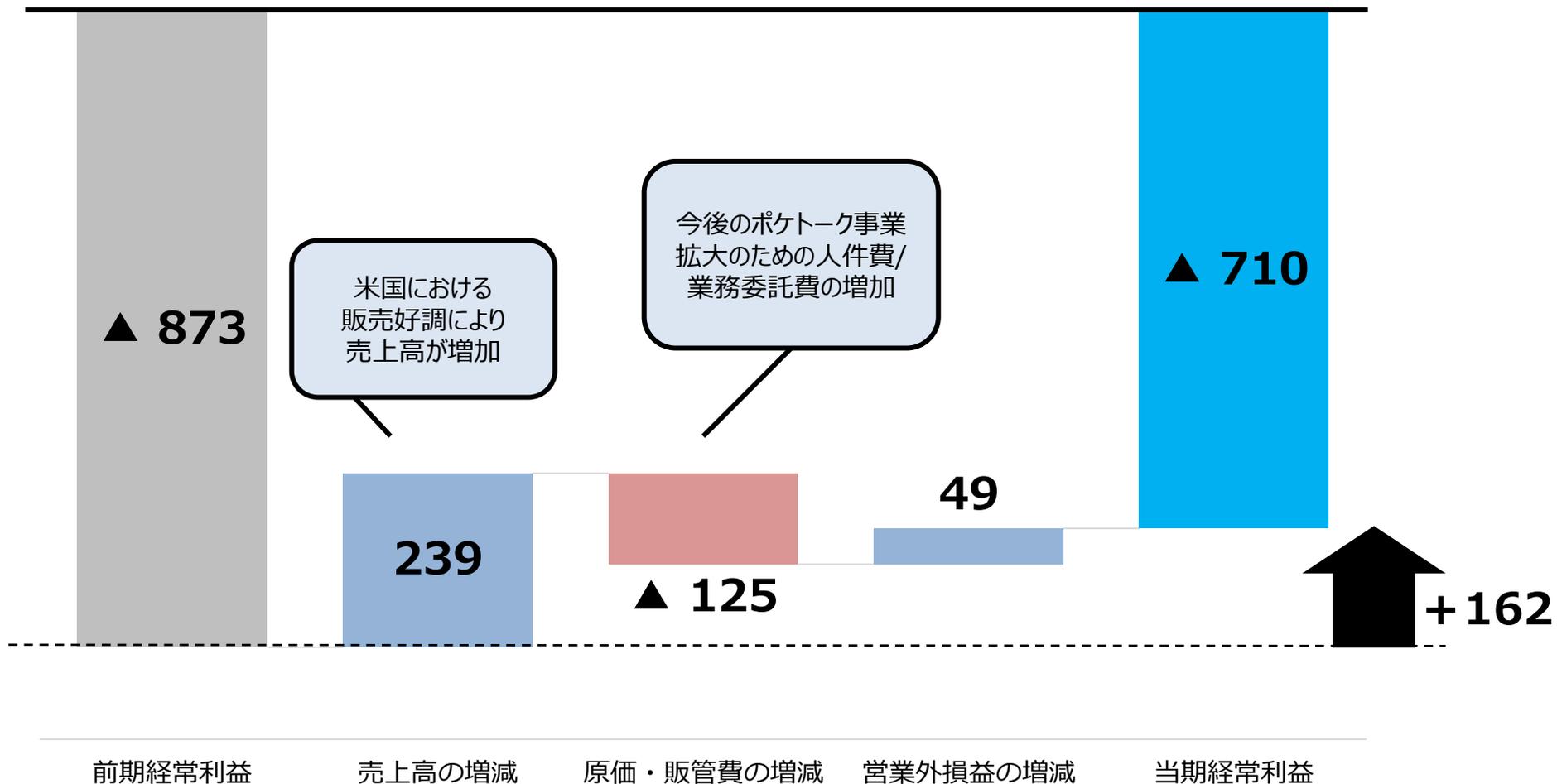
（単位：百万円）

■ 増加 ■ 減少



経常利益の増減（前期比/第1四半期）

（単位：百万円）

■ 増加 ■ 減少


※ 増加・減少は利益に対しての影響です。



※ 粗利は各製品・チャネルに直課できない開発費等の共通費を除いており、売上総利益とは一致しません。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2024年3月末	2024年6月末	前期比	
			増減金額	増減率
流動資産	8,762	9,037	+275	+3.1%
現金及び預金	3,282	4,055	+773	+23.6%
商品及び製品	2,494	2,400	▲94	▲3.8%
固定資産	8,048	7,554	▲494	▲6.1%
総資産	16,811	16,591	▲219	▲1.3%
流動負債	6,329	6,236	▲92	▲1.5%
固定負債	2,092	1,759	▲333	▲15.9%
純資産	8,389	8,596	+206	+2.5%
自己資本比率	48.0%	49.0%	-	+1.0 pt

1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 今後の見通し

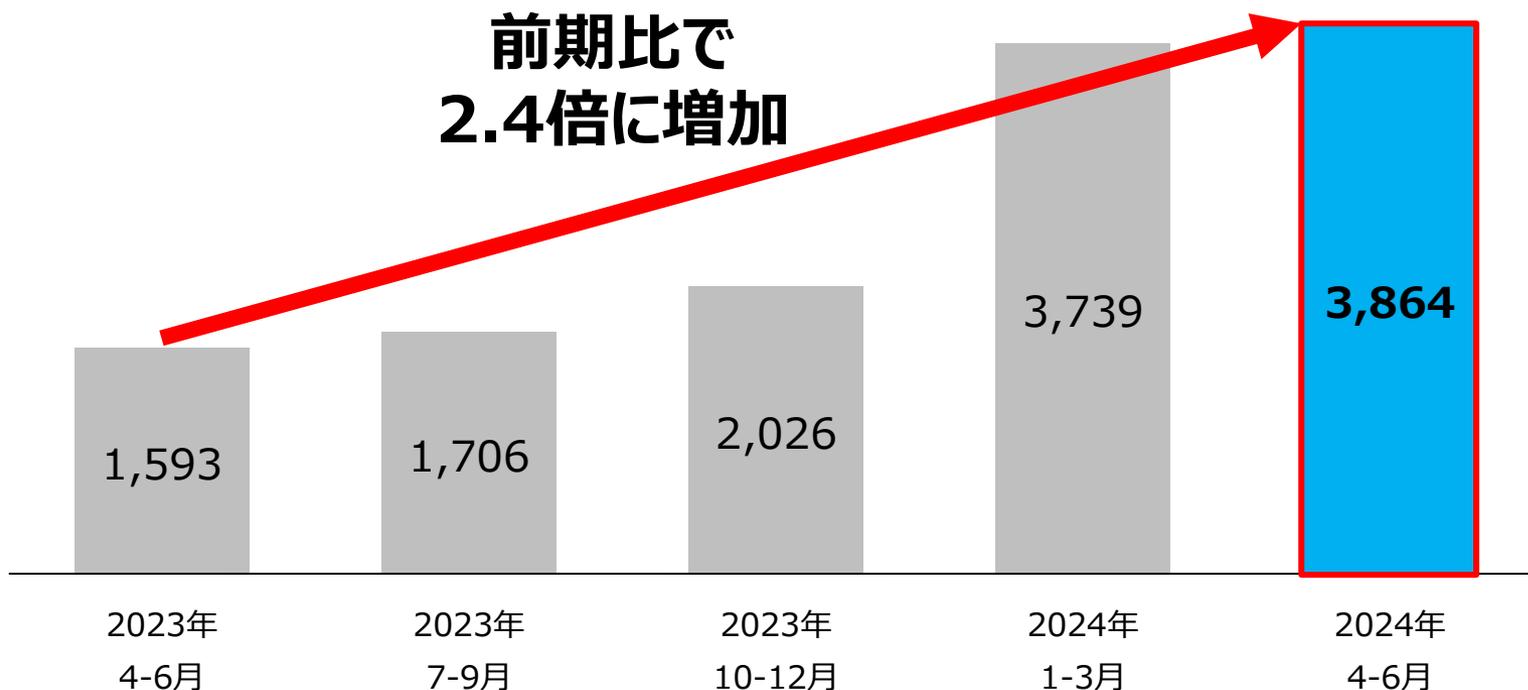
4. 補足資料

1. ポケットーク事業の近況（海外）

1. ポケットーク事業（海外）

米国でのポケットーク事業 売上高の推移

(単位：千USD)



米国における非ネイティブに向けた多言語対応需要により、
教育機関を中心に、継続してポケットーク端末及びソフトウェアの導入が増加

1. ポケットーク事業（海外）

米国業績が好調な要因

- ① ポケットーク端末×セキュリティ×分析・管理ツール
= 唯一無二の製品・サービスを提供
- ② 大手ディストリビューターを積極的に活用
- ③ 多言語対応に関する市場ニーズの増加

1. ポケットーク事業（海外）

① ポケットーク端末×セキュリティ×分析・管理ツール

ポケットーク端末

なぜアプリ（スマホ）でなく、専用端末にニーズがあるのか

スマホの使用を禁止する学校や、非推奨とする場所が多い

個人のスマホを使用するのは、プライバシー保護の観点で問題がある

病院等、複数人で端末を共用したい環境においては、専用端末が求められる

マイク・スピーカーがスマホより高性能なので、騒がしい場所でもコミュニケーションが可能

スマホより安価（端末自体の価格差に加えて、スマホやタブレットは月額料の通信量もかかる）



また、競合企業にとっては、ハードウェア×ソフトウェア製品の製造に対する参入障壁が高く、優位性の維持に繋がっている

1. ポケットーク事業（海外）

① ポケットーク端末×セキュリティ×分析・管理ツール

セキュリティ

- ✓ 「ISO27001」及び「ISO27017」の取得
- ✓ 米国医療機関での患者の個人情報保護を定めた規制「HIPAA」への準拠
- ✓ 欧州 一般データ保護規則「GDPR」への準拠
- ✓ 「COPPA（児童オンラインプライバシー保護法）」や「FERPA（家族の教育の権利とプライバシーに関する法律）」など、米国のプライバシー保護基準に準拠



セキュリティ面を強化したことにより、教育機関や大手企業への導入が加速

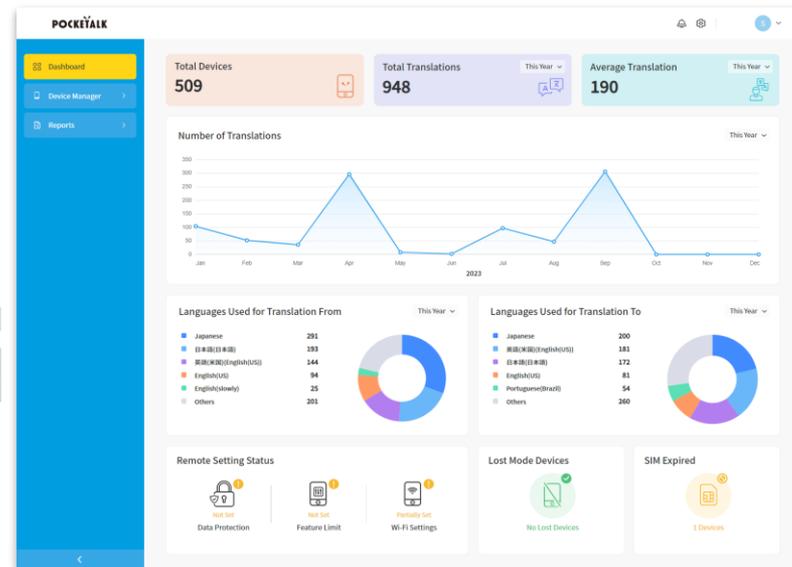
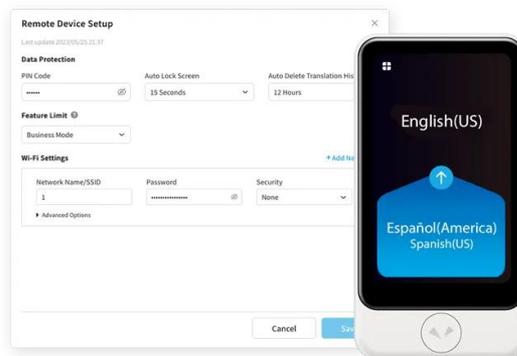
1. ポケットーク事業（海外）

① ポケットーク端末×セキュリティ×分析・管理ツール

分析・管理ツール「ポケットーク アナリティクス（米国名：Ventana）」

- 複数あるポケットーク端末の情報を一括管理
- ポケットーク端末の使用状況をリアルタイムで取得可能
- 取得データを分析することで、お客様サービスの向上や生産性の改善、売上の増加をサポートし、導入企業・団体の利益に繋がる

**→公共機関や大手企業のニーズを
獲得し、導入が進む**



1. ポケットーク事業（海外）

②大手ディストリビューターを積極的に活用

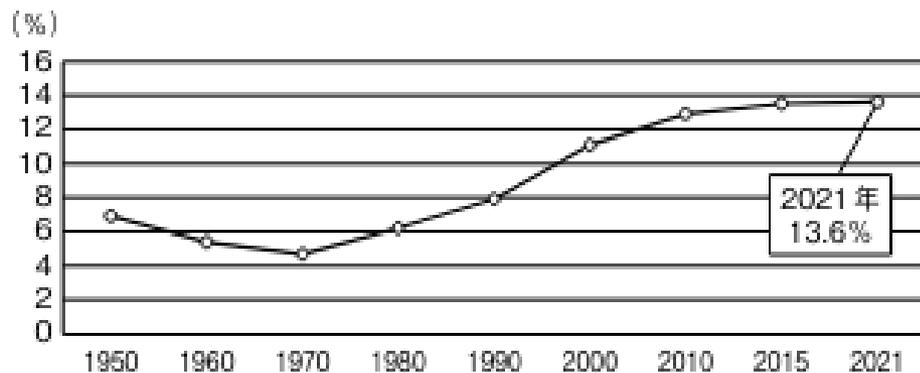
- 直接販売に加え、世界最大級のITディストリビューターであるTD SYNTEX社を始めとする大手ディストリビューターを通じて販売し、飛躍的に販売が増加
- 流通業者を活用することで、効率よく販売を拡大することが出来ており、業績の拡大に繋がった



1. ポケットーク事業（海外）

③多言語対応に関する市場ニーズの増加

米国人口に占める移民の割合



出典：Migration Policy Institute

米国における非英語話者への対応事例

USPS

2018年に非英語話者への対応充実を求められる調査書¹が提出される

医療機関

英語習熟度が低い患者への無料の医療通訳サービス提供と、患者が通訳者を要請できる権利が法律により規定

学区・学校

米国の小中高等学校(K-12)に通うESL生徒が2000年以降100万人以上増え²、外国人親子の対応が課題

1 : U.S. Postal Service Customer Service for Non-English-Speaking Customers、2 : Office of English Language Acquisition

医療機関や公共機関、大手企業などで、多言語対応のニーズが拡大

1. ポケットーク事業（海外）

③多言語対応に関する市場ニーズの増加

- 多言語対応ニーズの高い教育機関において、学区単位で大型の受注案件が増加（大規模な学区では1学区のみで、端末5,000台弱の受注実績あり）
- 全米に約17,000学区があり、今後も受注は増加見込み



1. ポケットーク事業（海外）

③多言語対応に関する市場ニーズの増加

ポケットークを導入したお客様からの声：

“生徒たちは、読み書き、計算ができるだけでなく、今、遊び場で仲間のところに行き、クラスメートと関係を築くことができます。シンプルなデバイス（ポケットーク）を使用することで、生徒たちはより歓迎され、快適に感じることができます”

-Dr. Creighton Helms, Director of Student Services and Federal Programs, Gervais **School District**

“ポケットークは、最前線で活躍する DMV チームのメンバーに、会話を双方向で迅速に翻訳する方法を提供します。これにより、英語を流暢に話せない、またはまったく話さないコロラドの人々とより効果的かつ効率的にコミュニケーションができるようになり、DMV への訪問が、お客様とスタッフにとって、より良いものになりました”

-Electra Bustle, Sr. Director, Colorado **DMV**

“環境衛生検査の間や、早期介入や特別な医療が必要な子どもたちの訪問について話すミーティング内でポケットーク端末を使うことは、診療所のスタッフの助けになっています。ポケットークのおかげで、スタッフは英語を話さない患者や家族とより効果的にコミュニケーションができるようになりました”

-Tracy Fricano Chalmers, Director of **Public Health Planning**, Niagara County

“ポケットークの影響は多面にわたって感じられ、母国語に関係なく効果的なコミュニケーションを可能にします。人間の通訳に比べてわずかなコストにもかかわらず、これらのデバイス（ポケットーク）を使用すると、トレーニングの効果が高まるだけでなく、メンバーが危険、リスク、安全プロトコルを完全に理解できるようになり、安全性も強化されます”

-Dell Bull, VP, CAVU International

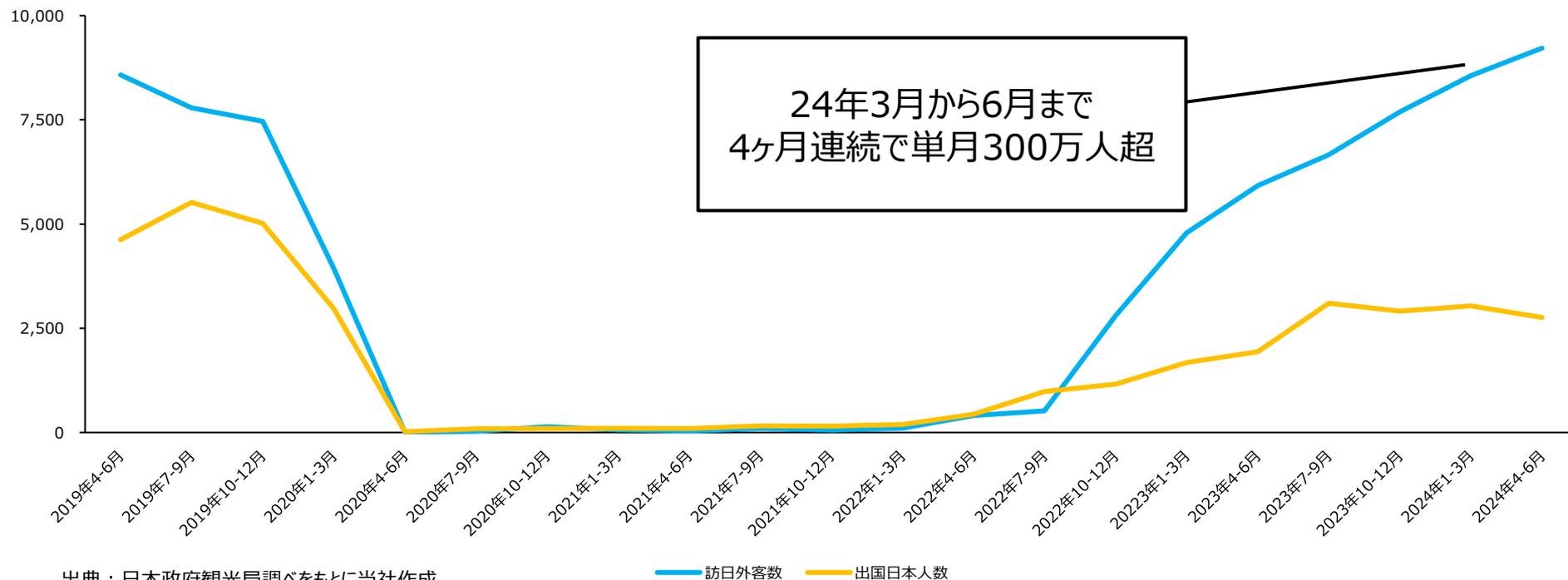
2. ポケットーク事業の近況（国内）

1. ポケットーク事業（国内）

インバウンド・アウトバウンドの回復状況

訪日外客数と出国日本人数の推移

(単位：千人)



出典：日本政府観光局調べをもとに当社作成

円安の影響等により、出国日本人数の回復は見られず、
アウトバウンド需要の戻りは鈍い。
一方で、24年4-6月の訪日外客数は、前期比155.7%で推移。

1. ポケットーク事業（国内）

ポケットーク端末貸出イベントの開催を継続

量販店におけるポケットーク端末貸出イベントの貸出フロー



1. ポケットーク事業（国内）

ポケットーク端末貸出イベントの開催を継続

イベント開催の利点

ポケットーク端末自体の販売数増加

実際のお買い物で使ってもらうことで、返却時に購入するケースが増加

店舗の売上向上

顧客とスタッフの間に、言葉の壁がなくなることで、客単価が向上

貸出端末の利用データ分析による、収益拡大

店内での会話データを可視化し、店舗の収益が拡大

家電量販店以外にも、訪日外国人が多く訪れる場所で積極的に開催していく

1. ポケットーク事業（国内）

「ポケットーク for スクール」 神戸市教育委員会へ導入

POCKETALK® KOBE



- 専用端末を必要としないAI同時通訳「ポケットークライブ通訳」と、国際イベントなどで同時通訳を届ける「ポケットークカンファレンス」を組み合わせた、教育機関向けの新サービス「ポケットーク for スクール」を神戸市教育委員会へ導入
- 昨今の外国人児童の増加に伴い、日本国内でも教育現場における「言葉の壁」への対応が急務。母国語支援者の不足やコストの増加が問題になっており、本サービスの導入が決定

1. ポケットーク事業（国内）

ポケットーク社は、株式会社イーエムネットジャパン
及び株式会社アジェンダと新たに資本提携を開始



POCKETALK®



ポケットーク社にて、累計52.3億円の資金調達を実施

3. ソースネクスト事業の近況

3. ソースネクスト事業

ソースネクスト事業 通期方針

- ① AIを活用した機能を主力製品ほぼすべてに搭載
- ② 成長市場における新規製品の発掘
- ③ サブスクリプション型サービスの拡大

3. ソースネクスト事業

2025年3月期 注目の新製品

**Backbone One**

新規市場/世界83カ国で大人気製品

**BirdieTalk**

AI活用/自社開発製品

ORACLE
NetSuite

世界NO.1のクラウドERP

Oracle Corporation 調べ

**Oracle NetSuite**

世界No.1のクラウドERP

Oracle Corporation 調べ

3. ソースネクスト事業

－①AIを活用した機能を主力製品ほぼすべてに搭載

対話型ゴルフAIデバイス「BirdieTalk（バーディ・トーク）」 応援購入サービスサイトMakuakeにて販売開始



Makuake

プロジェクト 活動レポート 応援コメント 534

SOURCENEXT. BirdieTalk

GPT搭載 AIキャディ

AIとの対話で、安定した「100切り」を!

応援購入総額 **10,804,800円** **Success!**
目標金額 500,000円
2160%

サポーター 406人
残り 22日

リターンを見る

AIとラウンドする時代へ。GPTを活用したAIキャディ「BirdieTalk」

#ガジェット #テクノロジー #スポーツ #ゴルフ #便利グッズ

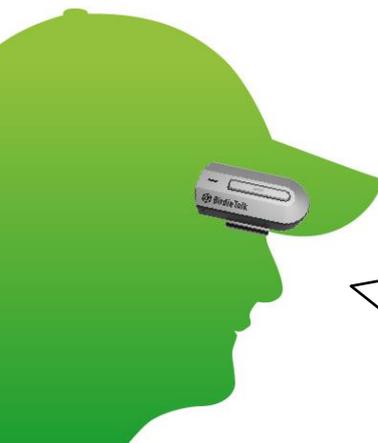
- 当社の音声認識技術と最新のGPT技術を組み合わせ、プレー中にさまざまなアドバイスを提供
- 24年7月末時点で、応援購入金額は1,000万円を突破

3. ソースネクスト事業

－①AIを活用した機能を主力製品ほぼすべてに搭載

対話型ゴルフAIデバイス「BirdieTalk（バーディ・トーク）」機能

- アドバイス機能
 - －ライの状況に応じた打ち方
 - －プレイヤーの不調を解決する工夫
 - －ルールに関する質問への回答
- グリーンセンターまでの距離測定
- SHOT傾向の分析
- 常に最新版にアップデートされ、追加料金は不要
- アプリと連携して利用



 音声で質問

“あごの高いバンカーで
目玉状態のときに
何に気をつけるとよい？”



 AIが質問に回答

“左足に体重をかけ、
頭と左膝の位置を変えずに
ボールの手前を
しっかり打ち込みましょう”

3. ソースネクスト事業

－①AIを活用した機能を主力製品ほぼすべてに搭載

文字起こしAI「AutoMemo」 β版としてリリースしていた要約機能を正式リリース

全体の要約

話者ごとの要約

要約前 → 要約後

AutoMemo企画会議

大戸さん 00:01
お疲れ様です。全員揃いましたので本日の企画会議を始めさせていただきます。よろしくお願いたします。
本日の議題はオートメモ新製品発表会についてと9月実績の振り返りです。
企画担当の中野さん、開発担当の鈴木さん、広報担当の斉藤さん、営業担当の佐藤さんにも参加いただいています。

鈴木さん 00:04
開発担当の鈴木です。よろしくお願いたします。

斉藤さん 00:04
広報担当の斉藤です。よろしくお願いたします。

佐藤さん 00:04
営業担当の佐藤です。よろしくお願いたします。

大戸さん 00:04
まず初めに記者発表に関する現状確認をしたいです。
中野さん、お願いただけますでしょうか。

フリーコメント | 要約 | 話者ごとの要約

フリーコメント

日時：2023年9月30日 14:00～14:30
参加者：大戸、鈴木、斉藤、佐藤、中野

要約

【要約】
本日の会議では、新製品AutoMemo Rの発表会についての詳細が話し合われました。

【決定事項】
プレゼンテーションのスライドと台本の初稿が完成し、大戸さんと中野さんに校正を依頼することが決まりました。
校正の期限は8月9日です。
また、プレゼンテーション中に実施するデモは、現在開発中の要約機能を使用することが決定しました。

【共有事項】
AutoMemo Rの開発は順調に進行しており、8月22日の発表会での配布と9月5日の発売は問題ないとの報告がありました。

話者ごとの要約

大戸さん
本日の企画会議が始まりました。

話者ごとの要約

Aさん

- 新たに実装される要約機能について説明した。
- この機能は、オートデモで文字起こししたテキストを要約し、議事録のサポートが可能となる。

Bさん

- 料金プランの変更について説明した。
- 月額表記はなく、5月末まで5月分の更新となる。

- 文字起こししたデータ全体の要約と話者ごとの要約をまとめて出力
- 全体の要約は、【要約】【決定事項】【共有事項】の要素に分けて表示

3. ソースネクスト事業

－①AIを活用した機能を主力製品ほぼすべてに搭載

「AutoMemo」の新機能として 要約した文章からToDoリストを作成する機能を追加

ToDo

- プレゼンテーションのスライドと台本の校正
大戸さん、中野さん 8月9日まで
- 要約機能のデモの準備
鈴木さん 8月9日まで
- 要約するための元データの準備
中野さん 8月4日まで
- 出席予定の記者の人数の確認
斉藤さん 8月9日まで



3. ソースネクスト事業

－①AIを活用した機能を主力製品ほぼすべてに搭載

AIを活用したその他製品



今後もAIを活用した製品を続々と追加予定

3. ソースネクスト事業

－②成長市場における新規製品の発掘

24年6月より、スマホ用ゲームコントローラー 「Backbone One (バックボーン・ワン)」販売開始



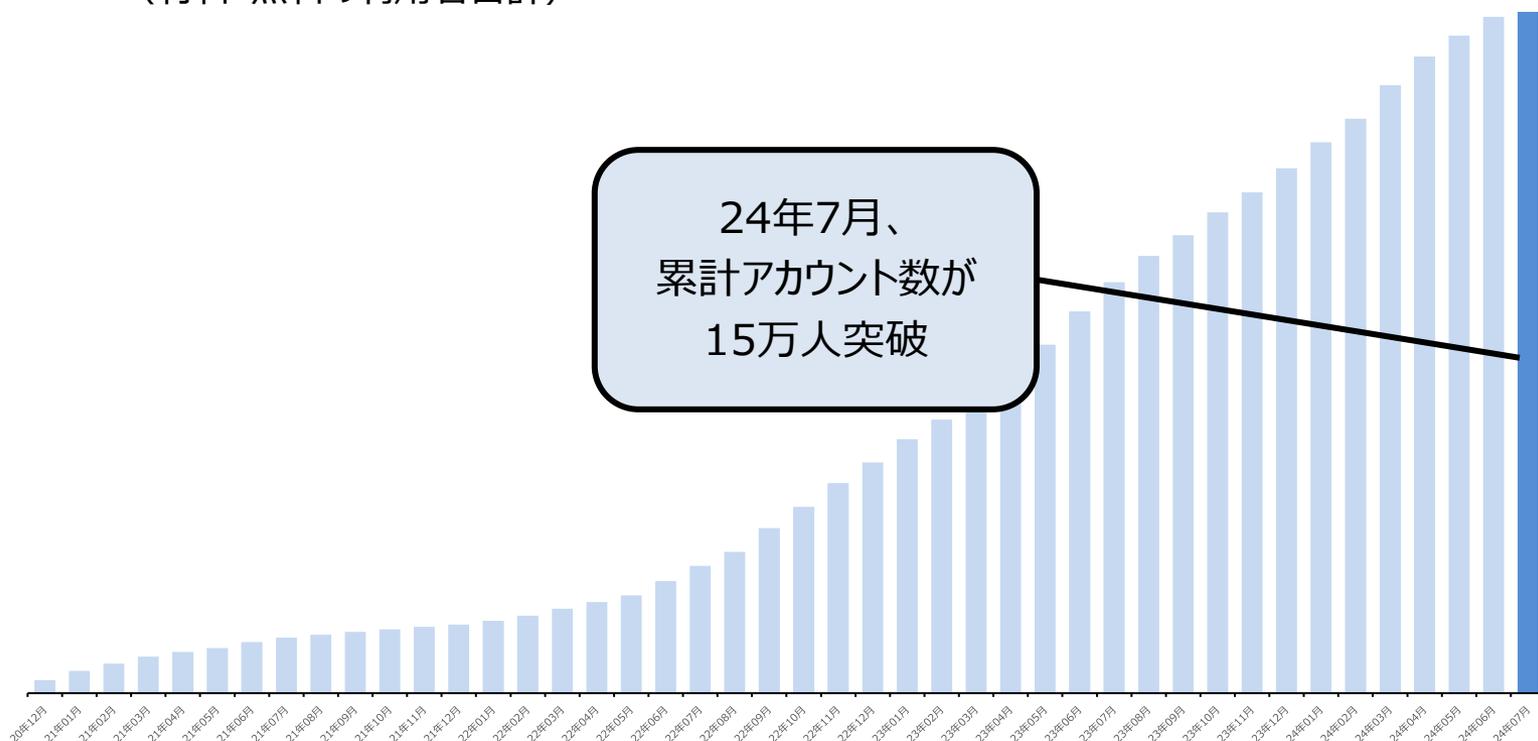
- 伸縮式のホルダーにスマホを接続することで、スマホをゲーム機に変えられるコントローラー
- 当社が日本唯一の総合代理店として、各販売チャネルへ展開。開始直後から、好調に販売を拡大

3. ソースネクスト事業

-③サブスクリプション型サービスの拡大

文字起こしAI「AutoMemo」 累計アカウント数が7月時点で15万人を突破

(有料・無料の利用者合計)



要約機能などのさまざまな機能拡充により、有料会員数も順調に増加

3. ソースネクスト事業

－③サブスクリプション型サービスの拡大

サブスクリプション型サービスの販売を拡大し、 安定した経営基盤の形成を進める

おすすめ



伝わる、心遣い。
筆まめ Ver.34
自動継続版
ダウンロード版
3,460円
34ポイント
カートに入れる

事前に、自動継続版の詳細をご確認下さい

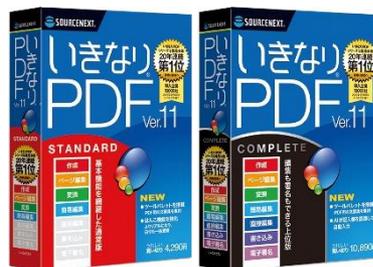
初めてでも乗換でも
ずっとお得

最新版が
1,980円



- ・2026年用からは1980円で最新版が使える
- ・バージョンアップが自動でらくらく

[詳しくはこちら >](#)



	文字起こしのみ お試しプラン	文字起こしのみ スタンダードプラン 自動更新		おすすめ 文字起こし+通約 プレミアムプラン 自動更新	
		月払い	年払い	月払い	年払い
料金 (税込)	無料	1,480円/月	1,280円/月 15,360円/年 (一括)	2,480円/月	1,980円/月 23,760円/年 (一括)
文字起こし 時間	1時間/月	30時間/月		30時間/月	
契約回数	なし お試し一回	なし お試し一回		10回/月	
お支払い 方法	—	オートメモから：クレジットカード オートメモAppから：App Store、Google Playストアで			



AutoMemo 

3. ソースネクスト事業

－③サブスクリプション型サービスの拡大

日本オラクル株式会社と統合基幹業務システム（ERP） 「Oracle NetSuite」の日本市場での販売に係る協業を開始



The screenshot shows the Oracle NetSuite website interface. At the top, there is a navigation bar with the SOURCENEXT logo and search options. Below the navigation, the main content area features a large blue banner with the text "ORACLE NetSuite" and "世界NO.1のクラウドERP Oracle Corporation調べ". To the right of the banner, there are several data dashboards and charts, including a "Financials Dashboard" with a table of values, a "Subsidiaries" section, a "Weekly Cash Projection" table, and a "Key Performance Indicators" section with line graphs showing percentage changes.

- 世界No.1のクラウドERP^(※)である「Oracle NetSuite」の、日本市場における販売拡大について協業 ^(※)Oracle Corporation調べ
- 当社の持つ法人顧客基盤を活かして、同製品を取り扱うことで、継続的な収益の獲得を目指す

1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 今後の見通し

4. 補足資料

25年3月期 今後の見通し

インバウンド需要の回復や米国における「ポケットーク」の急速な販売拡大により、販売状況が大きく変化していることに加え、為替変動の影響等も受け、精度の高い業績予想の算定が困難になっており、引き続き、25年3月期の連結業績予想は非開示とさせていただきます

各事業の25年3月期 通期方針

継続して、以下の方針に取り組み、収益の最大化を目指す

ポケットーク事業

- 米国
- ①大手ディストリビューターを積極的に活用し、販売を拡大
 - ②原価低減と価格の見直しによって、粗利率を劇的に改善
 - ③分析・管理コンソールの提供により、公共機関や法人からの受注を獲得
- 日本
- ①日本国内におけるインバウンド需要を捉え、販売数量を増やす
 - ②ポケットーク ライブ通訳・カンファレンス等、ソフトウェアの拡販
 - ③分析・管理コンソールの提供により、法人からの大型受注を獲得

ソースネクスト事業（ポケットーク除く）

- ①AIを活用した機能を主力製品ほぼすべてに搭載
- ②成長市場における新規製品の発掘
- ③サブスクリプション型サービスの拡大

次の常識をつくる

We Source What's Next.

1. ハイライト

2. 事業の近況

3. 今後の見通し

4. 補足資料

訪日外客数と出国日本人数

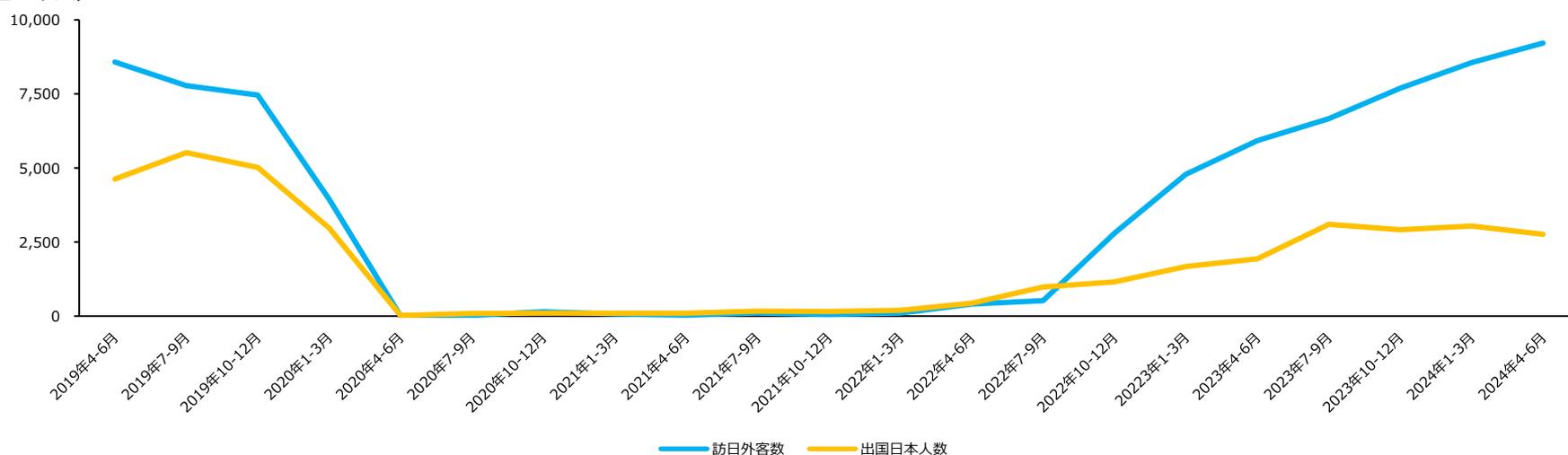
(単位：人)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
訪日外客数	2017年	2,295,668	2,035,771	2,205,664	2,578,970	2,294,717	2,346,442	2,681,518	2,477,428	2,280,406	2,595,148	2,378,079	2,521,262
	2018年	2,501,409	2,509,297	2,607,956	2,900,718	2,675,052	2,704,631	2,832,040	2,578,021	2,159,595	2,640,610	2,450,751	2,631,776
	2019年	2,689,339	2,604,322	2,760,136	2,926,685	2,773,091	2,880,041	2,991,189	2,520,134	2,272,883	2,496,568	2,441,274	2,526,387
	2020年	2,661,022	1,085,147	193,658	2,917	1,663	2,565	3,782	8,658	13,684	27,386	56,673	58,673
	2021年	46,522	7,355	12,276	10,853	10,035	9,251	51,055	25,916	17,720	22,113	20,682	12,084
	2022年	17,766	16,719	66,121	139,548	147,046	120,430	144,578	169,902	206,641	498,646	934,599	1,370,000
	2023年	1,497,472	1,475,455	1,817,616	1,949,236	1,899,176	2,073,441	2,320,694	2,157,190	2,184,442	2,516,623	2,440,890	2,734,115
	2024年	2,688,478	2,788,224	3,081,781	3,043,003	3,040,100	3,135,600						

(単位：人)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出国日本人数	2017年	1,295,059	1,493,399	1,745,412	1,234,921	1,317,742	1,336,169	1,480,718	1,888,071	1,622,694	1,459,083	1,546,985	1,469,039
	2018年	1,423,727	1,390,518	1,807,063	1,356,679	1,383,847	1,421,649	1,557,980	2,033,435	1,630,088	1,646,230	1,673,473	1,629,345
	2019年	1,452,157	1,534,792	1,929,915	1,666,546	1,437,929	1,520,993	1,659,166	2,109,568	1,751,477	1,663,474	1,642,333	1,712,319
	2020年	1,380,762	1,316,820	272,697	3,915	5,539	10,663	20,295	37,137	31,606	31,049	30,703	33,033
	2021年	48,691	24,807	28,896	35,905	30,121	30,666	43,184	66,051	52,366	50,841	51,774	48,942
	2022年	74,982	46,932	70,678	129,168	134,013	171,529	277,945	386,412	319,165	349,557	379,196	432,057
	2023年	443,105	537,705	694,292	560,183	675,603	703,259	891,615	1,200,930	1,004,730	937,715	1,027,110	947,911
	2024年	838,581	978,884	1,219,789	888,767	941,710	930,200						

(単位：千人)



出典：日本政府観光局調べをもとに当社作成



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご了承ください。